



2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年10月31日
株式会社デンソー

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 上期は、北米での車両生産の増加や、円安効果により、
増収増益

2. 下期の為替や車両生産を見直し、通期業績予想を上方修正

3. 配当は、中間配当は47円(当初予想34円)

2014年3月期 第2四半期 連結決算

02 / 23

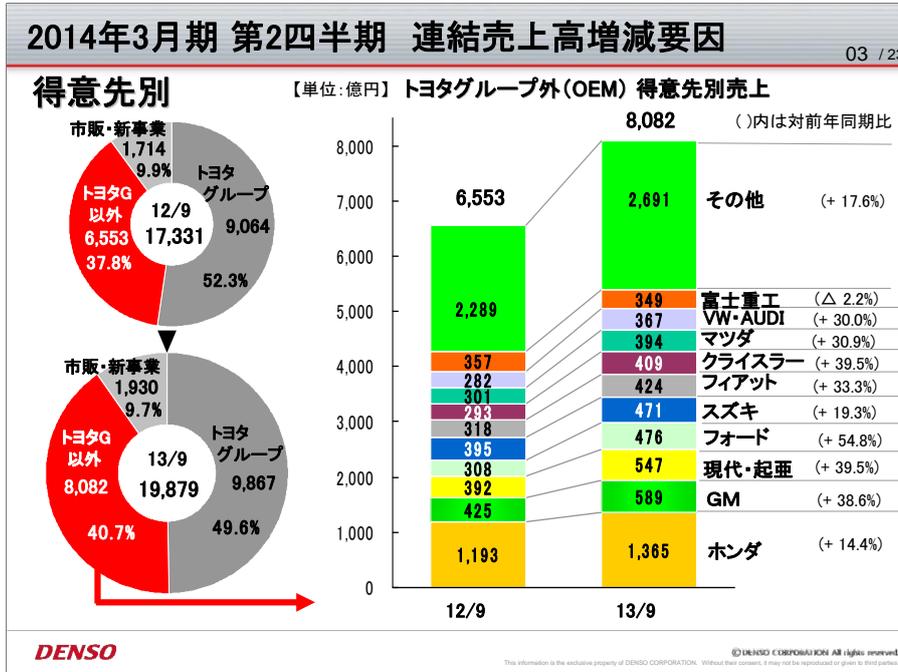
	()内は売上高比			【単位:億円】	
	1Q時予想	13/9期実績	12/9期実績	増減額	増減率
売上高	19,730	19,879	17,331	+2,547	+14.7%
営業利益	(9.0%) 1,780	(9.7%) 1,922	(7.9%) 1,363	+559	+41.0%
経常利益	(9.9%) 1,950	(10.8%) 2,146	(8.6%) 1,492	+654	+43.8%
税引前利益	(9.9%) 1,950	(10.8%) 2,146	(7.9%) 1,374	+772	+56.2%
当期純利益	(6.9%) 1,370	(7.5%) 1,501	(4.5%) 781	+720	+92.2%
為替レート	98円/ドル 128円/ユーロ	99円/ドル 130円/ユーロ	79円/ドル 101円/ユーロ	20円 円安 29円 円安	
国内車両生産	454万台	453万台	470万台	-17万台	-3.6%
海外日系車生産 (内、北米)	865万台 (268万台)	869万台 (266万台)	830万台 (247万台)	+39万台 (+19万台)	+4.7% (+7.7%)

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

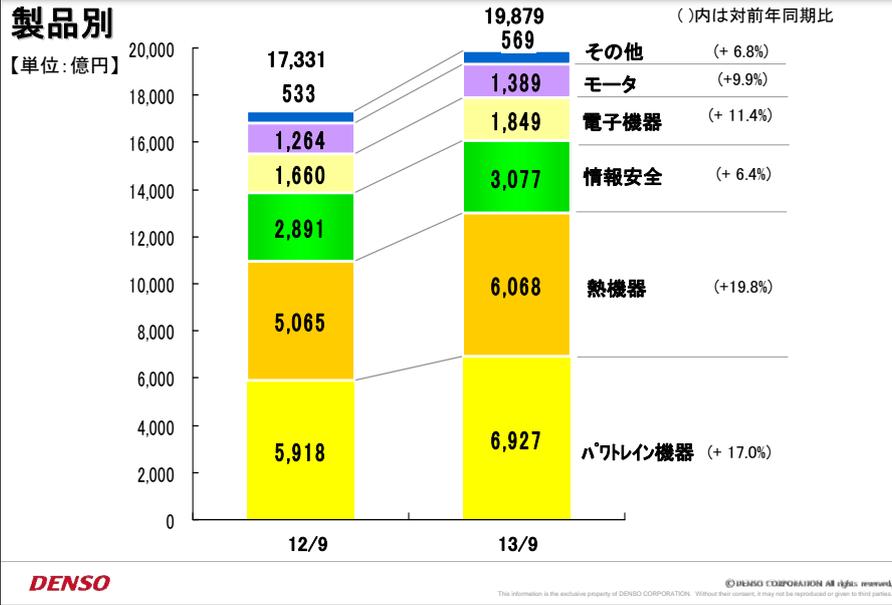
<連結決算概要>

- ・売上高は1兆9,879億円。前年比 + 2,547億円、14.7%の増収となりました。
- ・営業利益については、合理化努力や為替差益等により、1,922億円と前年比+559億円、+41.0%の増益となりました。
- ・営業外収支224億円を加え、経常利益は2,146億円と、前年比 + 654億円、+43.8%の増益となりました。
- ・当期純利益は1,501億円と、前年比 + 720億円の増益となりました。



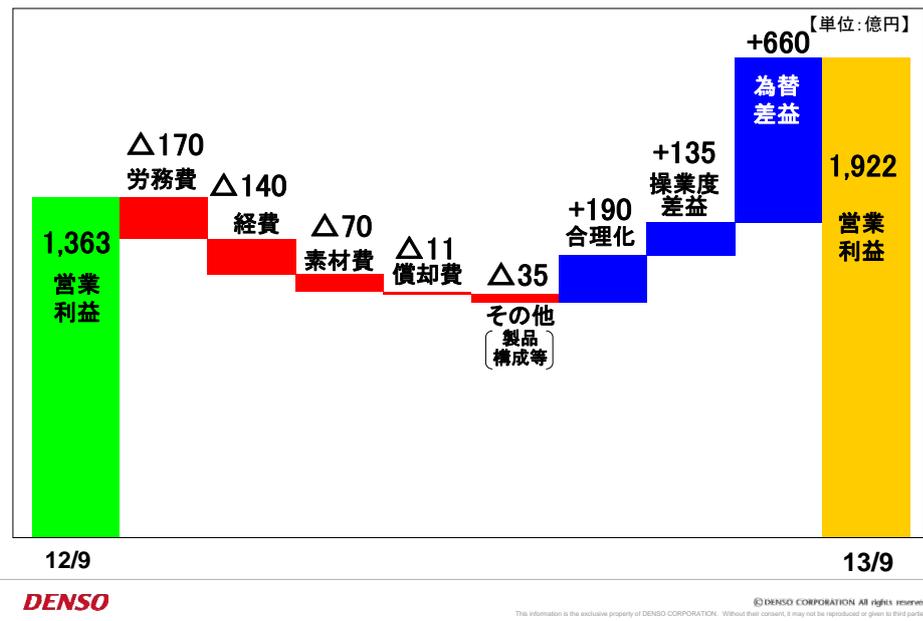
<得意先別売上>

- トヨタグループ向けの売上は、北米・欧州では車両生産台数が増加しましたが、日本・豪亜地域では減少したこともあり、売上は微増にとどまり、シェアとしては低下しました。
- トヨタグループ以外では、スズキは、日本での車両生産が減少したものの、リチウム電池パックの拡販により、マツダは直噴製品などの拡販により、それぞれ売上は増加しました。海外カーメーカー向けも、車両生産の増加に加え、フォードにはカーエアコンの拡販、GMにはコモンレールの拡販などにより、それぞれ売上は増加しました。



<製品別売上>

- ・熱機器は、
北米・欧州・豪亜地域での車両生産増加に加え、
カーエアコン等の拡販により、
売上が増加しました。
- ・パワートレイン機器は、
ガソリン直噴製品やリチウムイオン電池パックの拡販により、
売上が増加しました。



<営業利益の増減要因>

主な点は以下の通りです。

マイナス要因

- ①労務費増 ▲170億円は、新興国での賃金増加や、国内の賞与や残業の増加によるものです。
- ②経費増 ▲140億円は、研究開発費の増加などによるものです。

プラス要因

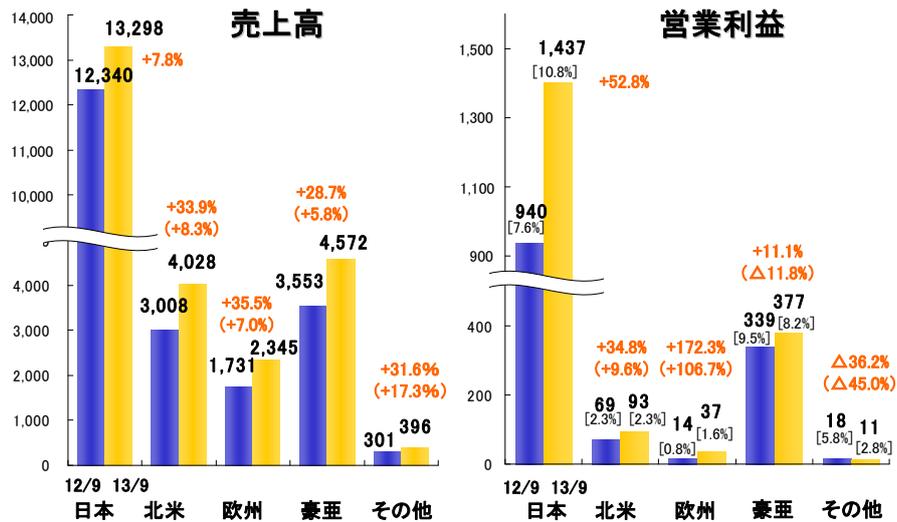
- ①合理化努力 +190億円は、生産性向上などによるものです。
- ②操業度差益 +135億円は、生産の増加によるものです。
- ③為替差益 +660億円は、主にドルで20円、ユーロで29円の円安によるものです。

上期としては過去最高ということですが、リーマンショック後に取り組んだ構造改革の成果が、表われてきたものと思っています。

【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

＜地域別の売上・営業利益＞

日本

- ・売上は、国内車両生産台数は減少しましたが、海外向けの売上が増加し、前年比 +7.8% の増収となりました。
- ・利益は、固定費等の増加があったものの、合理化努力や円安による為替差益等により、前年比 +52.8% の増益となりました。

日本以外（現地通貨ベース）

- ・北米、欧州地域では、車両生産台数の増加や、円安による為替差益により、増収・増益となりました。
- ・豪亜、その他の地域では、車両生産台数は増加したものの、労務費や工場・テクニカルセンターの立ち上げ費用の増加などにより、減益となりました。

2014年3月期 通期予想

07 / 23

()内は売上高比

【単位：億円】

	1Q時予想	14/3期最新	13/3期実績	増減額	増減率
売上高	38,900	40,100	35,809	+4,291	+12.0%
営業利益	(8.6%) 3,350	(9.0%) 3,600	(7.3%) 2,624	+976	+37.2%
経常利益	(9.3%) 3,610	(9.8%) 3,910	(8.3%) 2,960	+950	+32.1%
税引前利益	(9.3%) 3,610	(9.8%) 3,910	(7.9%) 2,819	+1,091	+38.7%
当期純利益	(6.3%) 2,440	(6.6%) 2,640	(5.1%) 1,817	+823	+45.3%
為替レート	94円/ドル 124円/ユーロ	97円/ドル 130円/ユーロ	83円/ドル 107円/ユーロ	14円 円安 23円 円安	
国内車両生産	914万台	945万台	913万台	+32万台	+3.5%
海外日系車生産 (内、北米)	1,769万台 (554万台)	1,773万台 (546万台)	1,663万台 (502万台)	+110万台 (+44万台)	+6.6% (+8.8%)

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.

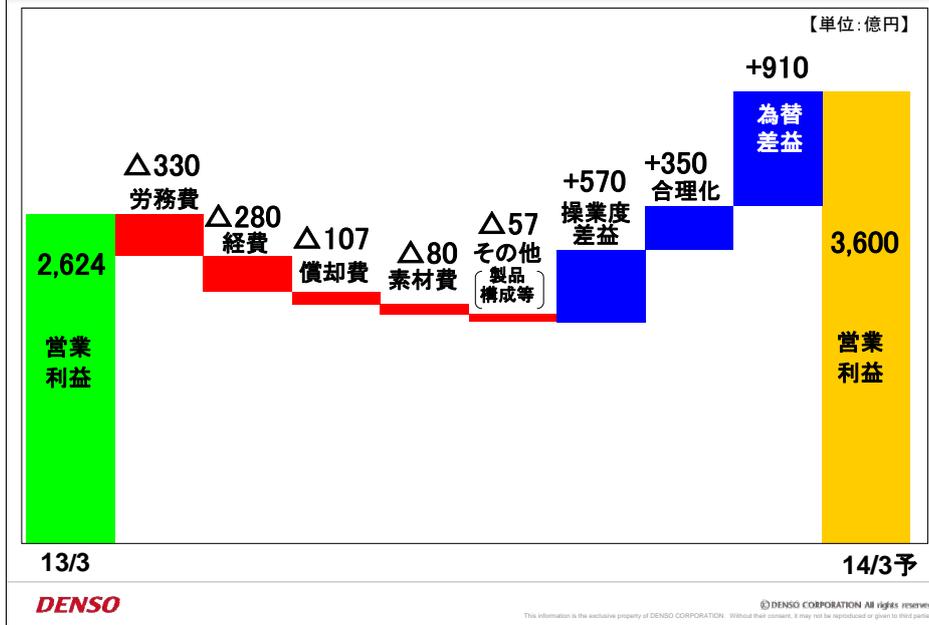
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期予想>

下期は日本・北米での車両生産の増加を見込み、さらに、前提となる為替を、下期ドル95円、ユーロ130円とし、通期ではドル97円、ユーロ130円としまして、通期予想を上方修正いたします。

売上高は、4兆100億円、営業利益は、3,600億円と見込んでおります。

ご参考までに為替が1円変動することによる営業利益への影響額は、ドルで年間27億円、ユーロで年間8億円です。



<通期予想の利益増減要因>

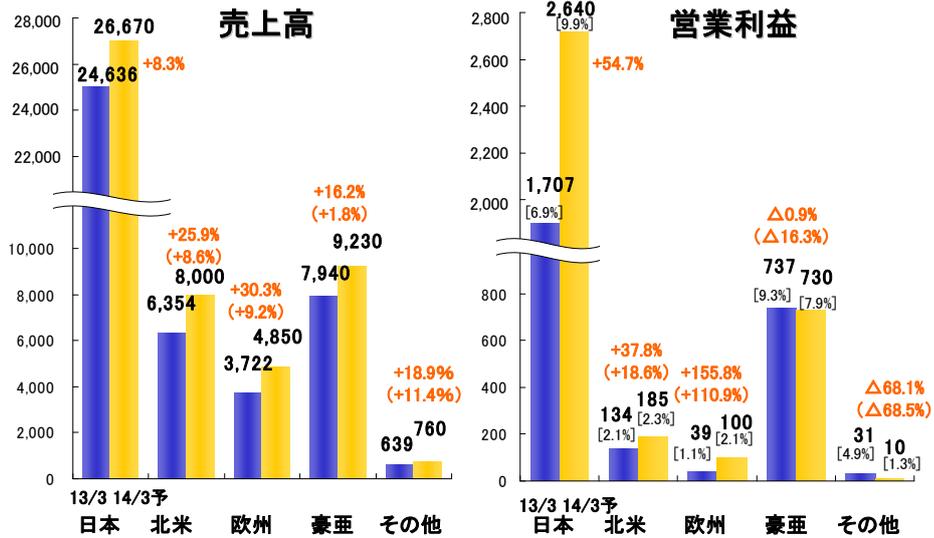
主に固定費の増加によるマイナス要因▲854億円に対して、操業度差益、合理化努力、為替差益によるプラス要因が+1,830億円で、前年比976億円増加の3,600億円の営業利益となる見込みです。

2014年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

09 / 23

【単位：億円】 ※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



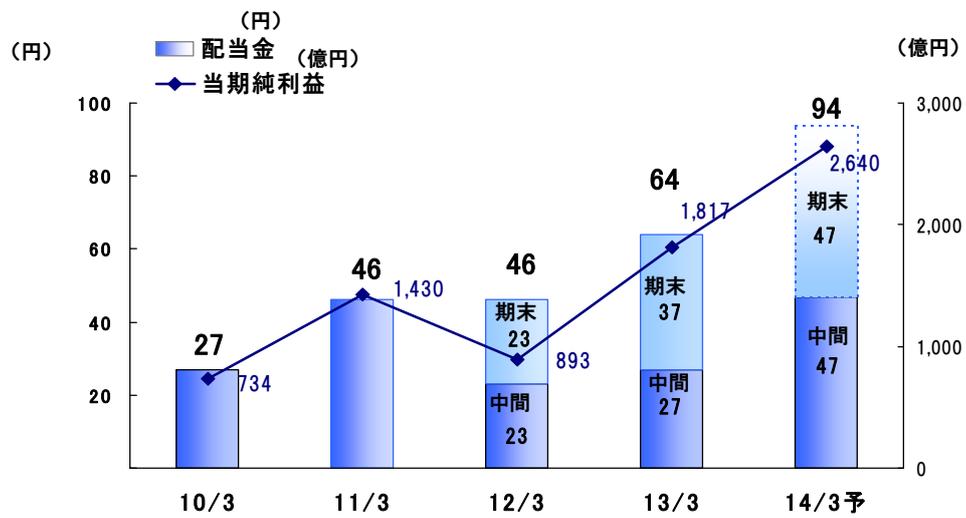
DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期の売上・営業利益>

現地通貨ベースでは、
 日本、北米、欧州は増収増益、豪亜とその他の地域では、
 増収減益となる見込みです。

中間配当：1株につき47円、年間配当：94円(予定)



DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

中間配当につきましては、業績予想の見直しを踏まえ、当初予想34円から増額し、47円とさせていただきます。

デンソーグループ・グローバル中期方針

1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ
 - (1) 顧客(カーメーカ)との関係深化と成長する新興国市場での事業拡大
 - (2) 車の魅力向上に繋がるシステム商品の創出
 - (3) 市販事業の拡大と新事業の育成
2. 世界初を生み出し続ける企業への進化
 - (1) 世界初にこだわる商品開発力の向上
 - (2) ダントツのコスト競争力を持つ
グローバル調達・生産・供給体制の構築
3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現
 - (1) デンソーグループ12万人の総智総力の結集
 - (2) スピード第一で行動する職場・風土への変革

15年目標 “売上高4兆円”“営業利益率8%”**DENSO**©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

デンソーは2012年の4月に2015年中期方針を発表し、

1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ、
 2. 世界初を生み出し続ける企業への進化、
 3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現
- の3つをグローバル方針として掲げ、
グループ一丸となってまい進してきております。

燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術

- 小型化**
低燃費の小型車
部品の小型軽量化
- 電動化**
ハイブリッド・電気自動車
- システム化**
システム間連携による省燃費

- **内燃機関エンジンの高効率化**
 - ・ガソリン直噴
 - ・ディーゼルコモンレール
- **アイドルストップシステムの対応**
 - ・スタータの始動性/耐久性向上
 - ・省燃費システム
- **ハイブリッド製品の小型/軽量化**
 - ・インバータ
 - ・モータジェネレータ
- **車全体のエネルギーマネジメント**
 - ・熱・電カマネジメント



DENSO

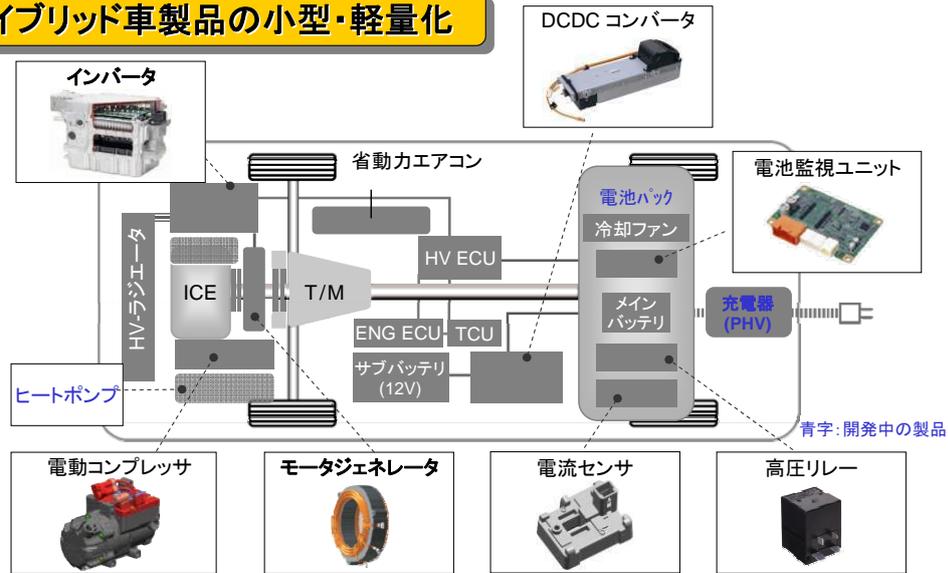
©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

成長を支える技術として1つ目が、
燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン製品です。

地球環境への負荷低減で、
自動車産業が果たす役割はますます増えており、
車両の小型化、電動化、システム化が進んでいきます。

デンソーでは内燃機関からハイブリッド・EVに至る
幅広い分野で開発を続けており、
地域ごと・顧客ごと、それぞれのニーズやトレンドに対して、
ソリューションを提供しております。

ハイブリッド車製品の小型・軽量化



トヨタ(レクサス、クラウン等)に加え 他社でも間もなく採用予定

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

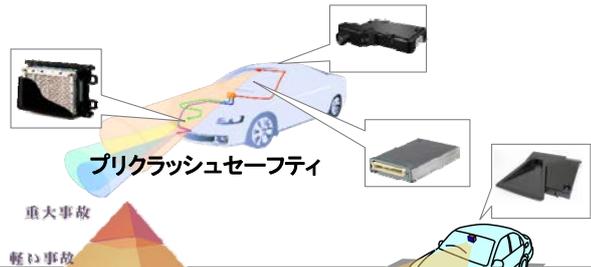
ハイブリッド製品では、特に日本および北米地域において環境にやさしいハイブリッド車の比率は徐々に高まってきております。特に今後の車両の電動化を念頭に、インバータと、モータージェネレータには注力しております。

インバータは、独自の両面冷却技術により小型化と大電力化を両立し、レクサスの各ラインナップに加え、カムリ、クラウンに採用されております。さらに、間もなく販売が開始となる他社のモデルでも、採用されることが決まっております。

安心・安全分野の技術開発

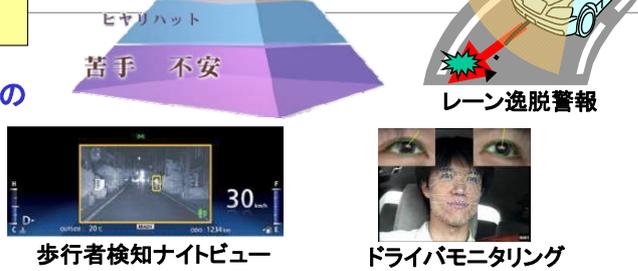
もしもの安全

緊急時に危険回避
(万一衝突時は被害軽減)



いつもの安心

通常時にドライバーの
心の余裕を育む



DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

環境ともう一つの事業の柱として力を入れている技術が、安心・安全分野です。

モータリゼーションの進化により新興国を中心に自動車保有台数が増加していますが、一方で交通事故も増加するという面があります。

デンソーでは「もしもの安全・いつもの安心」をスローガンに、交通事故を未然に防いだり、万が一の事故発生時にもその被害を軽減できるような製品や、運転に対する苦手意識や不安を取り除き、安心した状態での運転をサポートできる製品の開発に取り組んでおります。

その中でも、事故を未然に防ぐ予防安全の分野では、トヨタ、マツダ、ダイハツなどのカーメーカーに採用いただいております。搭載されている車種の数も増加しております。



死亡事故の形態分析によれば、追突が最も多く、次に出会い頭、さらには歩行者の順になっています。

今後の製品開発の方向性については、これらの事故の予防を目的としながら、各地域の法制化や自動車アセスメントの動向、および消費者のニーズをふまえて、エントリー、スタンダード、プレミアムの3つのパッケージを開発し、提案をおこなっていきます。

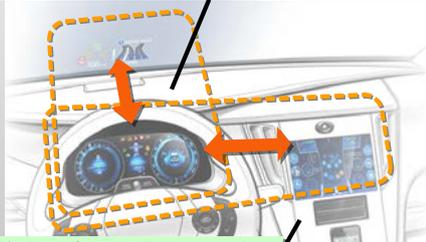
情報と安心を両立できるIVIシステム

*IVI: In-Vehicle Information
*HMI: Human Machine Interface

環境変化により情報量が急激に増加 → 情報と安全の両立が必要

【システムの特長】

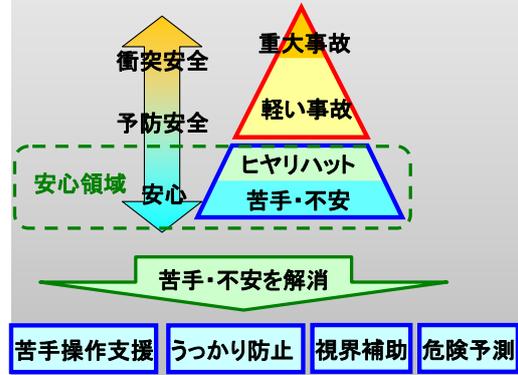
①コックピットでは運転状況を把握でき、
運転中も安全な楽しさと使いやすさを提供



②進化・成長するシステム
(マルチメディア部は
入替え、後付け、更新が可能)

③最先端のIT機器がツナガル

【提供する安心サービス】



ナビゲーションの再定義 → クルマの楽しさと安心を支援するコンピュータへ

情報通信の分野については、昨今、IT技術の進化によりドライバーが得られる情報量が急激に増加した結果、多くの利便さを享受できるようになりました。

しかし、ドライバーがわき見をせず安全に情報を認識したり、安全運転のための情報をタイムリーに入手できるような、安全のための安心サービスが重要になってきます。

1件の重大事故のウラには300件のヒヤリハットがあると言われており、それを減らすためにはドライバーの持っている「苦手とか不安」といった要素を解消できるような情報の表示が役立ちます。

そこで、コックピットまわりで運転状況をしっかりと把握できる、運転中も安全な楽しさと使いやすさを提供していきます。ヘッドアップ・ディスプレイの開発もその一例です。

一方で、ナビやオーディオなどのマルチメディア部分は入替え、後付け、更新を可能とし、最新のソフトウェアを楽しめるようにすることや、また、最先端のIT機器がつながるようにすることを考えていきます。

デンソーでは、これらの役割を持つIVI(イン・ビークル・インフォメーション)システムを、従来のナビという道案内ではなく、車の楽しさと安心を支援するコンピュータと位置づけ、開発をおこなっています。

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米	欧州	豪亜	中国	インド	南米
サテライト拠点	国内G会社 韓国	ミシガン テネシー、 カルフォルニア	ドイツ(アーヘン) イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	タイ(バンコク) ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	上海 華北、西安、 華南、台湾	デリー	サンタバーバラ



ドイツ(アーヘン)



- ・現地顧客向け設計を強化し、顧客ニーズに迅速に対応
- ・欧州発の先行開発を推進し、他地域の技術開発にも貢献

ドイツ(ミュンヘン)



東京(設計開発拠点)

- ・車載半導体回路の設計開発を設置

ドイツ(アダセンス社)

- ・先進予防安全に関わる画像認識技術を開発

**世界7地域で地域最適製品の設計を強化
北米・欧州は研究開発拠点の役割を強化**

DENSO

© 2017 DENSO CORPORATION All rights reserved. All other marks are the property of their respective owners.

グローバルでの開発体制については、日本、欧州、北米の他に、アセアン、中国、インド、南米を含む7つの地域で、現地顧客向けの地域最適製品の設計をおこなうとともに、日本だけでなく、北米、欧州は地域事情に適した先行開発の推進もおこなっています。

例えばドイツではユーロNCAPが他地域に展開されることなどもあり、安全分野に注力して研究開発拠点の拡充をおこなっています。

また、半導体の設計拠点を東京に設立したり、ドイツで予防安全に関わる画像認識技術を開発するアダセンス社に出資をおこなうなど、注力分野では柔軟なネットワークの構築を進めていきます。

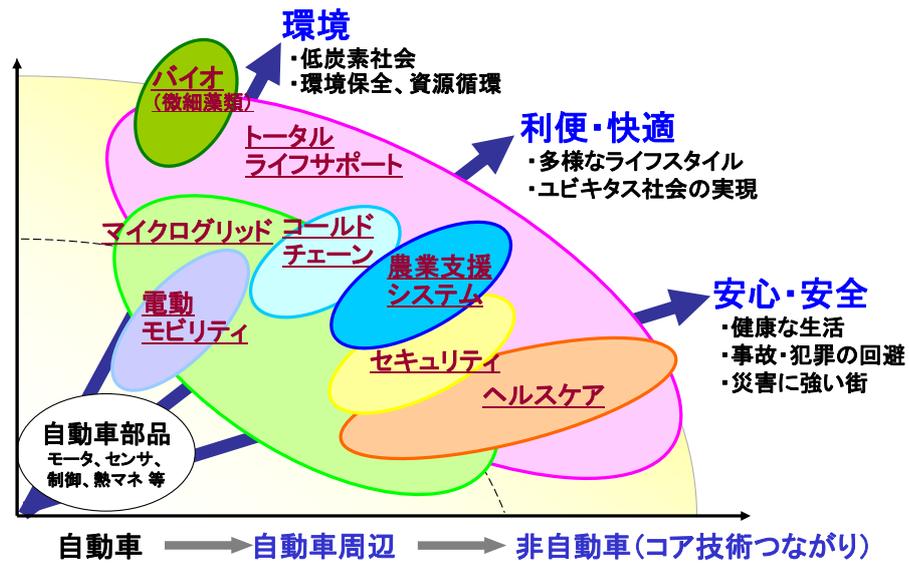


生産拠点についても、グローバルに新工場を建設し、
 市場の拡大・顧客の能力増強に合わせた
 生産体制の拡充を進めております。

2013年度の設備投資は年間で2,800億円に積み増し、
 日本や豪亜で引き続き高い水準の投資を継続する他、
 市場の拡大が見込まれる北米や豪亜地域も
 投資を増加させる予定です。

メキシコの第3工場であるシラオ工場は、
 カーエアコンに続き、オルタネータの生産も決定しました。
 インドネシアの第3工場も、間もなく竣工となります。
 また、アセアンでは将来的なキャパシティーへの対応、
 賃金の上昇なども念頭に、カンボジアやミャンマーへの投資を
 今後おこなっていきます。

自動車部品で培ってきた技術をベースに、人々の生活に密接し、
必要なサービスを・必要な時に・必要なだけ享受できる社会作りを目指す

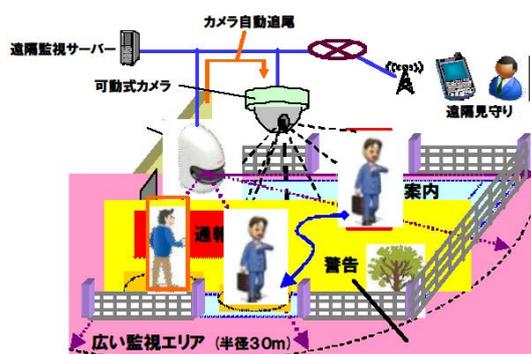


DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

現在注力している新事業分野への取り組みについては、
自動車の分野で培ってきた技術を活かし、
環境にやさしく、安心安全な社会に貢献でき、
快適さや利便性の向上に繋がる分野への取り組みをしてきました。

【セキュリティ】遠隔見守りシステム ZONE D



- ・レーザーで侵入者を検知し、カメラと連動して侵入者を見失わずに自動追尾
- ・被害を未然に防ぐ、警告・威嚇
- ・スマートフォンやタブレットで遠隔確認・操作
- ・見守りのみならず、店舗での来客認識による業務支援としても活用可能

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

そのなかで、今回はセキュリティの事例を紹介します。
レーザーによるセンシングの技術を応用した
セキュリティシステムです。

侵入者を検知するだけでなく自動追尾することに加え、
音を出して警告・威嚇ができる点、
スマホで遠隔操作ができる点、
昼間は顧客の来店を認識する業務支援ツールとしても活用できる点
が強みです。

【コールドチェーン】 海上コンテナ用冷凍機

- ・冷凍車用の冷凍機で培った技術を活用し、コンテナ分野で世界有数の事業者である中国国際海運コンテナ(集団)有限公司と共同で、海上コンテナ用の冷凍機を開発
- ・業界初の2コンプレッサーシステムを採用し、2インバーターによる独立回転数制御により、他社品に比べ、きめ細かな温度制御と、大幅な省燃費(▲20～50%)を実現



輸送コスト削減と食流通の安心安全に貢献

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

また、コールドチェーンの事例では、冷却・冷凍の技術を、食物などを輸送する海上コンテナ冷凍機に活かしました。

中国の大手コンテナ事業者と共同で開発したこの製品は、決め細かな温度制御を可能にするだけでなく、大幅な省燃費を実現し、輸送コストの削減と食流通の安心安全に貢献していきます。

地球と生命^{いのち}を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

「デンソーグループ2020年長期方針」で掲げたとおり、
世の中に届ける価値として、
地球環境の維持と、安心・安全にこだわった、
事業活動に取り組んでいきますので、
皆様からも、引き続きご支援を宜しくお願い致します。

DENSO

参考資料

- ・ 2014年3月期 第2四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- ・ 単独決算概要
- ・ 前提となる為替レート／車両生産台数
- ・ 得意先別売上
- ・ 製品別売上
- ・ 設備投資・償却費・研究開発費

DENSO

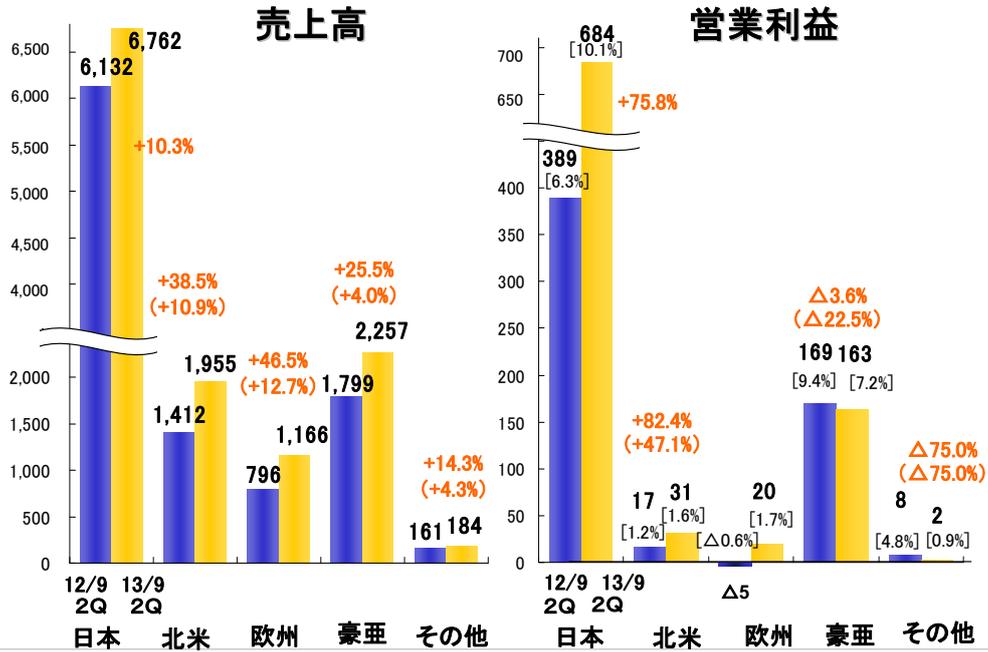
© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2014年3月期 第2四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は営業利益率



DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

単独決算概要

損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	13/9期実績		12/9期実績		前年比		14/3期予想				前年比	
					増減額	増減率	13/6時予想		最新予想		増減額	増減率
売上高	(100.0)	12,212	(100.0)	11,452	760	6.6	(100.0)	23,650	(100.0)	24,430	1,662	7.3
売上原価	(84.6)	10,330	(88.5)	10,135	195							
販売費及び一般管理費	(6.1)	741	(5.5)	635	106							
営業利益	(9.3)	1,141	(6.0)	682	458	67.2	(7.9)	1,880	(8.5)	2,070	834	67.4
営業外収支		522		411	111			620		680	△ 42	
経常利益	(13.6)	1,663	(9.5)	1,093	570	52.1	(10.6)	2,500	(11.3)	2,750	792	40.5
特別損益		0		△ 119	119			△ 1		0	△ 3	
税引前当期純利益	(13.6)	1,663	(8.5)	975	688	70.6	(10.6)	2,499	(11.3)	2,750	789	40.2
当期純利益	(10.7)	1,308	(5.7)	651	657	100.9	(7.8)	1,850	(8.3)	2,030	570	39.0

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					14/3通期				
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時 予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	79	90	98	99	20円 円安	87	90	90	95	8円 円安	83	90	94
	EUR	101	120	128	130	29円 円安	114	120	120	130	16円 円安	107	120	124	130	23円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											32	28	27	27	△ 5
	EUR											7	7	8	8	+1
日系車両生産 台数 (万台)	国内	470	444	454	453	△ 4%	443	460	460	492	+11%	913	904	914	945	+4%
	北米	247	273	268	266	+8%	255	285	285	280	+10%	502	558	554	546	+9%
	海外日系車	830	865	865	869	+5%	833	905	905	904	+9%	1,663	1,769	1,769	1,773	+7%

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

得意先別売上

【単位: 億円, %】

区分	13/9期実績(累計)		12/9期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	9,047	45.5	8,305	47.9	742	8.9
ダイハツ	554	2.8	505	2.9	48	9.5
日野自動車	267	1.3	254	1.5	13	5.0
トヨタグループ計	9,867	49.6	9,064	52.3	803	8.9
本田技研	1,365	6.9	1,193	6.9	172	14.4
G M	589	3.0	425	2.4	164	38.6
現代・起亜	547	2.7	392	2.2	155	39.5
フォード	476	2.4	308	1.8	169	54.8
スズキ	471	2.4	395	2.3	76	19.3
フィアット	424	2.1	318	1.8	106	33.3
クライスラー	409	2.1	293	1.7	116	39.5
マツダ	394	2.0	301	1.7	93	30.9
V W ・ A U D I	367	1.8	282	1.6	85	30.0
富士重工	349	1.8	357	2.1	△ 8	△ 2.2
いすゞ	293	1.5	230	1.3	63	27.4
日産自動車	247	1.2	194	1.1	52	27.0
三菱自動車	230	1.2	219	1.3	11	4.9
ベンツ	165	0.8	116	0.7	49	42.5
B M W	163	0.8	140	0.8	23	16.2
P S A	105	0.5	64	0.4	41	64.9
ジャガー・ランドローバー	80	0.4	65	0.4	15	23.4
その他メーカー	1,407	7.1	1,261	7.3	146	11.6
O E M 計	17,948	90.3	15,617	90.1	2,331	14.9
※ 市販・新事業他	1,930	9.7	1,714	9.9	216	12.6
合計	19,879	100.0	17,331	100.0	2,547	14.7

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

製品別売上

【単位:億円, %】

区分	13/9期実績(累計)		12/9期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハワトレイン機器計	6,927	34.8	5,918	34.1	1,008	17.0
熱機器計	6,068	30.5	5,065	29.2	1,003	19.8
情報安全計	3,077	15.5	2,891	16.7	186	6.4
電子機器計	1,849	9.3	1,660	9.6	190	11.4
モータ	1,389	7.0	1,264	7.3	125	9.9
その他※	293	1.5	241	1.4	52	21.6
自動車分野計	19,603	98.6	17,039	98.3	2,564	15.0
産業機器・生活関連機器	208	1.1	215	1.2	△ 6	△ 3.0
その他計	67	0.3	78	0.5	△ 10	△ 13.2
新事業分野計	276	1.4	292	1.7	△ 17	△ 5.7
合計	19,879	100.0	17,331	100.0	2,547	14.7

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

設備投資・償却費・研究開発費

【単位:億円】

	13/3期		14/3期		13/9期		
	12/9期	実績	13/9期	予想	増減率	進捗率	
設備投資	日本	594	1,243	684	1,310	15.2%	52.2%
	北米	82	205	211	390	157.3%	54.1%
	欧州	82	191	112	220	36.6%	50.9%
	豪亜	256	626	443	800	73.0%	55.4%
	その他	13	41	53	80	307.7%	66.3%
	合計	1,026	2,306	1,503	2,800	46.5%	53.7%
償却費	日本	602	1,315	587	1,350	△2.5%	43.5%
	北米	68	145	90	190	32.4%	47.4%
	欧州	50	107	68	140	36.0%	48.6%
	豪亜	96	222	139	290	44.8%	47.9%
	その他	10	23	15	30	50.0%	50.0%
	合計	825	1,811	899	2,000	9.0%	45.0%
研究開発費 (売上高比)	1,617 (9.3%)	3,355 (9.4%)	1,812 (9.1%)	3,700 (9.2%)		12.1%	49.0%

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.